

ポーランド政治クロノロジー(2011年8月)

月	内政	外交・軍事
8月	<p>1日 コモロフスキ大統領, ワルシャワ蜂起 67 周年記念式典に参列。</p> <p>1日 ワルシャワ地方裁判所, ヤルゼルスキ元大統領の健康状態を考慮し, 戒厳令に関する裁判への出頭義務を免除する決定を下す。</p> <p>2日 コモロフスキ大統領, シェモニャク内務次官を新国防相に任命。</p> <p>2日 コモロフスキ大統領, 社会保険基金からの年金支給に関する改正法案に署名。</p> <p>2日 政府, オシフェンチム(アウシュビッツ)戦略的政府プログラムに 3400 万ズロチ(約 1200 万ドル)拠出決定。</p> <p>2日 「法と正義」(PiS), 病院民営化の是非を問う国民投票の実施を要求する 15 万人分の署名を集める。</p> <p>3日 ラチコ国立銀行欧州単一通貨導入担当委員任命。</p> <p>3日 マチェレヴィチ PiS 議員, 下院政府専用機墜落事故調査委員会において, 国際機関による再調査を要求。ドルン議員, ミレル内務相の国家法廷出頭を要求。</p> <p>4日 コモロフスキ大統領, 議会選挙日を 10 月 9 日(日)にすると正式決定。</p> <p>4日 24 の地方都市市長らによる「上院へ市民」イニシアティブを発表(於:キエルツェ)。</p> <p>5日 ワルシャワ警察, レッペル元副首相兼農相(「自衛」党首)が, 自身の事務所内で首を吊って死亡したことを発表。</p> <p>8日 コモロフスキ大統領, 議会選挙後, 地方選挙における小選挙区制導入に関する法案を提出する意向を表明。</p> <p>8日 「市民プラットフォーム」(PO), 選挙キャンペーン開始。スローガンは「ポーランドは建設中」。</p> <p>9日 コモロフスキ大統領, 外貨建て借入金法に署名。</p> <p>9日 カチンスキ PiS 党首, 政府の富裕層を優遇した税制度を批判, 銀行税導入を要求。</p> <p>11日 レッペル元副首相(「自衛」党首)国葬。</p> <p>12日 PiS, 上院議員選挙候補者リスト発表。</p> <p>12日 フレボフスキ PO 議員, PO を離党。</p>	<p>1日 シコルスキ外相, パキスタン訪問(-2日)。</p> <p>1日 ミレル内相, レヴィチン露運輸相と電話会談。</p> <p>2日 シコルスキ外相, アフガニスタン訪問(-4日)。</p> <p>2日 政府専用機墜落事故に関する政府最終報告書の内容に対し, 露側事故調査委員会がコメントを発表。</p> <p>4日 楊中国外交部長, ポーランドを公式訪問(-6日)。</p> <p>4日 トウスク首相及びシェモニャク国防相, 政府要人の輸送を担当する第 36 特別航空輸送連隊を解体する方針を発表。また, ピョントラス国防副大臣の解任も発表。後任には, ムロチェク下院議員(下院国防委)が就任。</p> <p>5日 外務省, ベラルーシ経済警察による人権活動家ビアラツキ氏の逮捕を非難する声明を発表。</p> <p>5日 外務省, ティモシェンコ・ウクライナ前首相の逮捕を非難し, EU 議長国として EU・ウクライナ間の対話への関与を表明する声明を発表。</p> <p>8日 シコルスキ外相, アウン・サン・スー・チー女史と電話会談。</p> <p>11日 外務省, 検察庁がビアラツキ氏の銀行情報をベラルーシ当局に提供した件で, 外務省は本年1月よりベラルーシ反体制派の個人情報保護を強化しており, 今後も継続するとの声明を発表。</p> <p>12日 シコルスキ外相, ビアラツキ氏の銀行情報の提供問題に関し, ツイッターで謝罪。</p> <p>12日 グルシュカ作戦軍司令官, アフガニスタン訪問。</p> <p>14日 ミガルスキ欧州議員, 人権団体の招待によりベラルーシを訪問したところ入国を拒否される。</p> <p>15日 ポーランド軍記念日式典開催。</p> <p>17日 外務省, 12日の首相令に基づき, 「アフリカの角」及びリビアへの人道援助のため, 国家予算の予備費から 250 万ズロチを受領した旨発表。</p> <p>18日 ガズニ県北部で, ポーランド軍派遣部隊が IED 及び小火器による攻撃を受け, 兵士 1 名が死亡。</p>

<p>16日 セレメト検事総長,ベラルーシ人権活動家の銀行情報をベラルーシ当局に提供した検事を解任。</p> <p>16日 国鉄労組と国鉄経営者側で賃上げの時期を巡り協議が決裂。労組側はストライキ発動。</p> <p>17日 カチンスキPiS党首,グラバルチク・インフラ相に対する不信任決議案を提出。</p> <p>17日 「ポーランドが最も重要」(PJN)院内会派消滅。</p> <p>19日 トゥスク首相,経済状況に関する演説(於:下院)。</p> <p>19日 下院,開発協力に関する法案可決。2012年1月に施行予定。</p> <p>19日 大統領が発動中であった空軍大学創設に関する予算法案に対する拒否権への同意案,下院にて可決。</p> <p>19日 農民党(PSL),選挙プログラムを発表。</p> <p>20日 PiS,20の社会運動団体と選挙協力協定。正式な選挙運動を開始(於:ワルシャワ)。</p> <p>22日 選挙管理委員会,106の政党選挙委員会の登録を受領。</p> <p>22日 民主左翼連合(SLD),選挙プログラム発表。</p> <p>24日 コモロフスキ大統領,種子に関する法案に対し,遺伝子組み換え食品に関する箇所がEU法の基準を満たさないとして,署名拒否。</p> <p>25日 PiS,選挙プログラム・センターを同事務所内に開設。経済分野(税・雇用)を選挙争点として強調。</p> <p>26日 トゥスク首相,PiSに対し,同日の党首討論を提案。PiS側は拒否。</p> <p>27日 PiS,選挙立候補リスト公表。</p> <p>30日 議会選挙候補者リスト提出期限。</p> <p>30日 下院において,グラバルチク・インフラ相に対する不信任決議案が否決。</p> <p>30日 上院委員会,「アウシュビッツ・ビルケナウ財団」に1000万ユーロ拠出する法案を承認。</p> <p>31日 コモロフスキ大統領等,政労合意31周年記念式典に出席(於:グダンスク)。</p> <p>31日 公安庁,1941年のユダヤ人虐殺事件(イェドヴァブネ事件)の追悼碑に侮蔑的な落書きが発見されたことを受け,調査開始。</p>	<p>18日 バルト海に於いてポーランド海軍・米海軍合同演習(PASSEX)実施(-19日)。</p> <p>22日 外務省,リトアニアとの国境に近いプンスクにおいて発生したリトアニア語で表記された道路標識等がペンキで塗られる事件について,事件を強く非難。</p> <p>22日 国防省,ポーランド軍のリビア反政府組織への武器提供及びNATOのリビア作戦司令部への要員派遣に関する報道内容を否定。</p> <p>22日 ワルシャワ地区軍検察局,墜落した政府専用機のクルー指定に関し職務怠慢があったとして2名の士官を告訴。</p> <p>23日 欧州全体主義犠牲者追悼の日記念会議においてワルシャワ宣言を採択(於:ワルシャワ)。</p> <p>23日 ベラルーシの人権活動家ピアリツキの夫人,ポーランド訪問。</p> <p>24日 シェモニャク国防相,軍の改善案を発表。</p> <p>24日 国防省,高等練習機(LIFT)導入に関する入札を約2か月延期。</p> <p>25日 ベラルーシの独立系組織と欧州の記者との協力を目的とした「ベラルーシとの連帯キャンペーン」事務局が開設(於:ワルシャワ)。</p> <p>25日 バグラムX演習開催(-31日)。</p> <p>26日 トゥスク首相,ファン・ロンバイ欧州理事会議長と電話会談。</p> <p>26日 外務省,アブハジアにおいて「大統領選挙」が行われたことに遺憾の意を表明する声明を発出。</p> <p>26日 ポーランド航空の日式典開催。</p> <p>23日 アフガニスタン派遣部隊,掃討作戦を実施し,400kgの爆薬及び武器・弾薬を押収し,反政府軍中級指揮官等,数名の身柄を拘束(-26日)。</p> <p>30日 ヤヌコーヴィチ・ウクライナ大統領,ポーランドを非公式訪問(於:ユラタ)。</p> <p>30日 トゥスク首相,ブリュッセル訪問。</p> <p>31日 シェモニャク国防相,今秋アフガニスタンに派遣予定の第10次派遣部隊の人員を150名削減し(現行2600名),国内に待機する予備軍を200名に半減する旨決定。</p>
---	---